

令和5年度 第2回大島区地域協議会 次第

日 時：令和5年5月24日（水）
午後2時から
場 所：大島就業改善センター
3階 大会議室

1 開 会

2 報 告

(1) 中山間地域農業「将来ビジョン」の完成と実践に向けた取組方針について

資料No.1

3 協 議

(1) 地域活性化の方向性について

(※資料は前回の地域協議会で配布済)

4 その他

(1) 令和5年度第3回地域協議会の開催日について

【開催日：___月___日、開催時間：___時___分から】

5 閉 会

ありたい姿(キャッチフレーズ)

大島区らしさである人や物・自然の豊かさを活かし、
楽しい農業や地域のつながりにより、人生の楽園をめざします

実現するための4つの柱(方向性)

担い手・後継者の確保



- ① 地域おこし協力隊の導入と地域の受入体制づくりを進めます。
- ② 農業に参入する会社を募集します。
- ③ 残す農地、貸し付ける農地、やめる農地の線引きを行います。

農業生産維持に向けた
作物選定・所得確保



- ① 農産物や地域の魅力をSNSで発信します。
- ② 農産物を加工し、高付加価値化による所得の増収を目指します。

農業機械・スマート農機の
共有化・共同利用



- ① 農業機械の共同利用の促進と農作業の共同化に取り組みます。
- ② 市を通じて、NOSAIによる防除の継続を希望します。
- ③ ドローンの活用を推進します。

土地利用の明確化・
農地条件の改善



- ① 残す農地を明確にします。
- ② 農道・水路・ため池の整備を行います。
- ③ 人・農地プランの理解の浸透を図ります。

アクションプラン

短期

令和5年度から令和11年度までの取組 ⇒ 「ロードマップ」を参照

中長期

区分	取組内容	いつ	だれが	どうやって
該当する取組内容なし				

事務局的作用を担う「活動のエンジンとなる組織」

(仮称)大島区みらい農業づくり推進協議会【新組織】

- ・組織の構成員となることを希望する農業者
- ・マネジメント組織(大島区農業振興会、旭農業振興会)
- ・(公財)大島農業振興公社
- ・農業委員、農地利用最適化推進委員
- ・JAえちご上越頸北わかば営農センター
- ・浦川原区総合事務所産業グループ(事務局)
- ・大島区総合事務所総務・地域振興グループ
- ・上越東農林事務所普及課(オブザーバー)

現状と方向性

- 高齢化が進展する中で、担い手の減少や耕作地の減少により、多面的機能の低下が懸念。
- 農業の条件不利地域であるため、残す農地を選択して、そこにインフラ整備を集中させる。

【説明】高齢化の進展と人口減少が背景にあることから、アクションプランは全項目で、令和11年度までに取組の検討や実行に移していく短期目標となっている。限られた人的資源の中で、特に「担い手・後継者の確保」と「土地利用の明確化・農地条件の改善」について、取組可能な地域から進めていく。

【短期】アクションプラン(令和5年度～令和11年度までのロードマップ)

区分	取組内容	令和5年度 5期対策 4年目	令和6年度 5期対策 5年目	令和7年度 6期対策 1年目	令和8年度 6期対策 2年目	令和9年度 6期対策 3年目	令和10年度 6期対策 4年目	令和11年度 6期対策 5年目	
担い手・ 後継者の 確保	①地域おこし協力隊の導入と地域の受入体制づくり 【実施主体】 希望する地区または町内会	<ul style="list-style-type: none"> 導入希望の地区または町内会を把握。 	<ul style="list-style-type: none"> 希望する地区や町内会で組織体制を検討(既存の組織か、新規組織を立ち上げるか、事務局体制をどうするか。協力隊の人数、サポート体制や役割分担等)。 協力隊の年間活動計画等を作成。 住居の手配、改修。 市へ導入を要望。 	<ul style="list-style-type: none"> 市で募集開始。 現地見学会の実施。 応募に応じた面接試験。 	<ul style="list-style-type: none"> 着任 協力隊として3年間、活動。 				<ul style="list-style-type: none"> 地域に定住。 認定新規就農者として就農(経営開始資金の活用)。 人・農地プランへの位置づけ。
	②農業に参入する会社の募集 【実施主体】 希望する地区または町内会	<ul style="list-style-type: none"> 参入希望の地区または町内会を把握。 	<ul style="list-style-type: none"> 希望する地区や町内会で組織体制を検討(既存の組織か、新規組織を立ち上げるか、事務局体制をどうするか。募集方法をどうするか。参入後の会社に耕作してもらい農地面積や耕作条件の整理、利用権設定にするか、作業受託にするか等)。 	<ul style="list-style-type: none"> 募集開始。 	<ul style="list-style-type: none"> 参入する会社と条件が整った農地から順次、耕作を開始してもらう。 				
	③残す農地、貸し付ける農地、やめる農地の線引き 【実施主体】 農家組合または町内会	<ul style="list-style-type: none"> 農地の所有者、担い手を含めた耕作者による農地の線引き作業。 線引きされた農地の把握と整理(リスト化)。 	<ul style="list-style-type: none"> 多面的機能支払交付金の農用地リストに反映。 	<ul style="list-style-type: none"> 多面的機能支払交付金を活用した農地の維持管理。 	<ul style="list-style-type: none"> 中山間地域等直接支払交付金の農用地リストに反映。 	<ul style="list-style-type: none"> 中山間地域等直接支払交付金を活用した農地の維持管理。 			

※ 人・農地プランは、法定化され、「地域計画」という名称に変わりました。市では、令和6年度に見直しを行う予定です。

※ 区分「土地利用の明確化・農地条件の改善」で出された取組内容と重複する部分です。

【短期】アクションプラン(令和5年度～令和11年度までのロードマップ)

区分	取組内容	令和5年度 5期対策 4年目	令和6年度 5期対策 5年目	令和7年度 6期対策 1年目	令和8年度 6期対策 2年目	令和9年度 6期対策 3年目	令和10年度 6期対策 4年目	令和11年度 6期対策 5年目	
農業生産 維持に向けた作物 選定・所得確保	①農産物や地域の魅力をSNSで発信 【実施主体】 情報発信を希望する地域	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信を希望する地域の把握。 組織体制の検討と情報発信体制の検討(情報発信を希望する地域と既存の若者グループとで新組織を立上げ、若者グループへの委託等)。 情報発信の種類を検討(ホームページ、ツイッター)。 		<ul style="list-style-type: none"> 発信原案の作成。 	<ul style="list-style-type: none"> 四季折々の大島区の情報を発信。随時更新。 				
	②農産物を加工し、高付加価値化による所得の増収 【実施主体】 にんにく生産者グループ、にんにく加工者グループ	<ul style="list-style-type: none"> にんにくの販売先、採算性、品種選定、生産規模の検討。 加工場所、新たな機械や設備導入の検討。 新たな生産者の募集。 	<ul style="list-style-type: none"> 生産者の技術研修や勉強会の実施。 通常生産のほかに、試験栽培の実施。 販売先の確保や拡大。 新たな機械や設備の導入。 	<ul style="list-style-type: none"> 需要に基づいた生産を継続。 	<ul style="list-style-type: none"> 販路確保により、増産。 				

【短期】アクションプラン(令和5年度～令和11年度までのロードマップ)

区分	取組内容	令和5年度 5期対策 4年目	令和6年度 5期対策 5年目	令和7年度 6期対策 1年目	令和8年度 6期対策 2年目	令和9年度 6期対策 3年目	令和10年度 6期対策 4年目	令和11年度 6期対策 5年目
農業機械 スマート 農機の共 有化・共 同利用	①農業機械の共同利用の促進と農作業の共同化 【実施主体】 地域のリーダー	<ul style="list-style-type: none"> 共同化を希望する集落の把握。 共同化が可能な農作業を検討・決定。 	<ul style="list-style-type: none"> 共同化を希望する集落で組織形態を検討。 共同化の面積を把握。 導入機械の機種を検討。 補助事業、交付金事業の活用を検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 共同機械の導入 	<ul style="list-style-type: none"> 農作業の共同化開始。 			
	②市を通じて、NOSA Iによる防除の継続実施希望 【実施主体】 継続を希望する地域	<ul style="list-style-type: none"> 防除の継続実施を希望する集落の把握。 地域でNOSA Iに防除継続に見合う料金設定に応じながら、継続実施の希望を取りまとめる。 		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、NOSA Iによる防除の継続実施を希望する。 				
	③ドローンの活用 【実施主体】 継続を希望する地域	<ul style="list-style-type: none"> ドローンを所有しているグループの把握。 ドローン所有グループの広域組織化の検討。 ドローンによる共同防除を希望する集落の把握。 無人ヘリ防除エリアとのすみ分けの検討。 		<ul style="list-style-type: none"> 防除面積に応じたドローン台数の検討。 国・県・市・JA等の各種補助事業、交付金事業を活用した新規導入機体の検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ドローン導入 	<ul style="list-style-type: none"> ドローンによる適期防除の実施。 		

【短期】アクションプラン(令和5年度～令和11年度までのロードマップ)

区分	取組内容	令和5年度 5期対策 4年目	令和6年度 5期対策 5年目	令和7年度 6期対策 1年目	令和8年度 6期対策 2年目	令和9年度 6期対策 3年目	令和10年度 6期対策 4年目	令和11年度 6期対策 5年目		
土地利用 の明確化 農地条件 の改善	①残す農地を明確にする 【実施主体】 耕作者と日本型直接 支払制度の組織	<ul style="list-style-type: none"> 農地の所有者、担い手を含めた耕作者による農地の線引き作業。 線引きされた農地の把握と整理（リスト化）。 	<ul style="list-style-type: none"> 多面的機能支払交付金の農用地リストに反映。 	<ul style="list-style-type: none"> 多面的機能支払交付金を活用した農地の維持管理。 	<ul style="list-style-type: none"> 中山間地域等支払交付金の農用地リストに反映。 	<ul style="list-style-type: none"> 中山間地域等直接支払交付金を活用した農地の維持管理。 	※ 区分「担い手・後継者の確保」で 出された取組内容と重複する部分です。			
	②農道・水路・ため 池の整備を実施 【実施主体】 耕作者と日本型直接 支払制度の組織及び 町内会	<ul style="list-style-type: none"> 担い手を含めた耕作者、農家組合または町内会と日本型直接支払制度の組織が、残す農地を決めた後、ほ場、農道、水路、ため池整備の実施について検討。 国、県の事業の活用を検討。 事業を希望する担い手を含めた耕作者、農家組合または町内会と日本型直接支払制度の組織で、実施主体の組織体制を検討。 随時、市に相談。 	<ul style="list-style-type: none"> 圃場整備計画作成、要望提出 (例：中山間地域総合整備事業) 	<ul style="list-style-type: none"> 採択後、圃場整備事業実施に向けた調整・事業実施等 						
	③人・農地プランの 理解の浸透を図る 【実施主体】 市と農家組合長	<ul style="list-style-type: none"> 人・農地プランの理解の促進と見直し作業。 新たな人・農地プランの作成。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて人・農地プランの修正、更新。 	※ 人・農地プランは、法定化され、 「地域計画」という名称に変わりました。 市では、令和6年度に見直しを行う予定です。						

中山間地域農業の維持・振興に向けた大島区の“将来ビジョン”

実践に向けた取組方針

1 将来ビジョン実践のポイント

(1) 将来ビジョンの地域内への浸透と気運の醸成

大島区みらい農業づくり会議における話し合い参加者だけではなく、区内の農業者や農業団体はもとより、地域全体に将来ビジョンを浸透させ、気運を高める。

(2) 区内の協力者や参加者を巻き込んだ地域ぐるみの取組に拡大

様々な機会を捉えて積極的に呼びかけを行う中で、区内の協力者や参加者を取り込み、地域ぐるみの取組に発展させる。

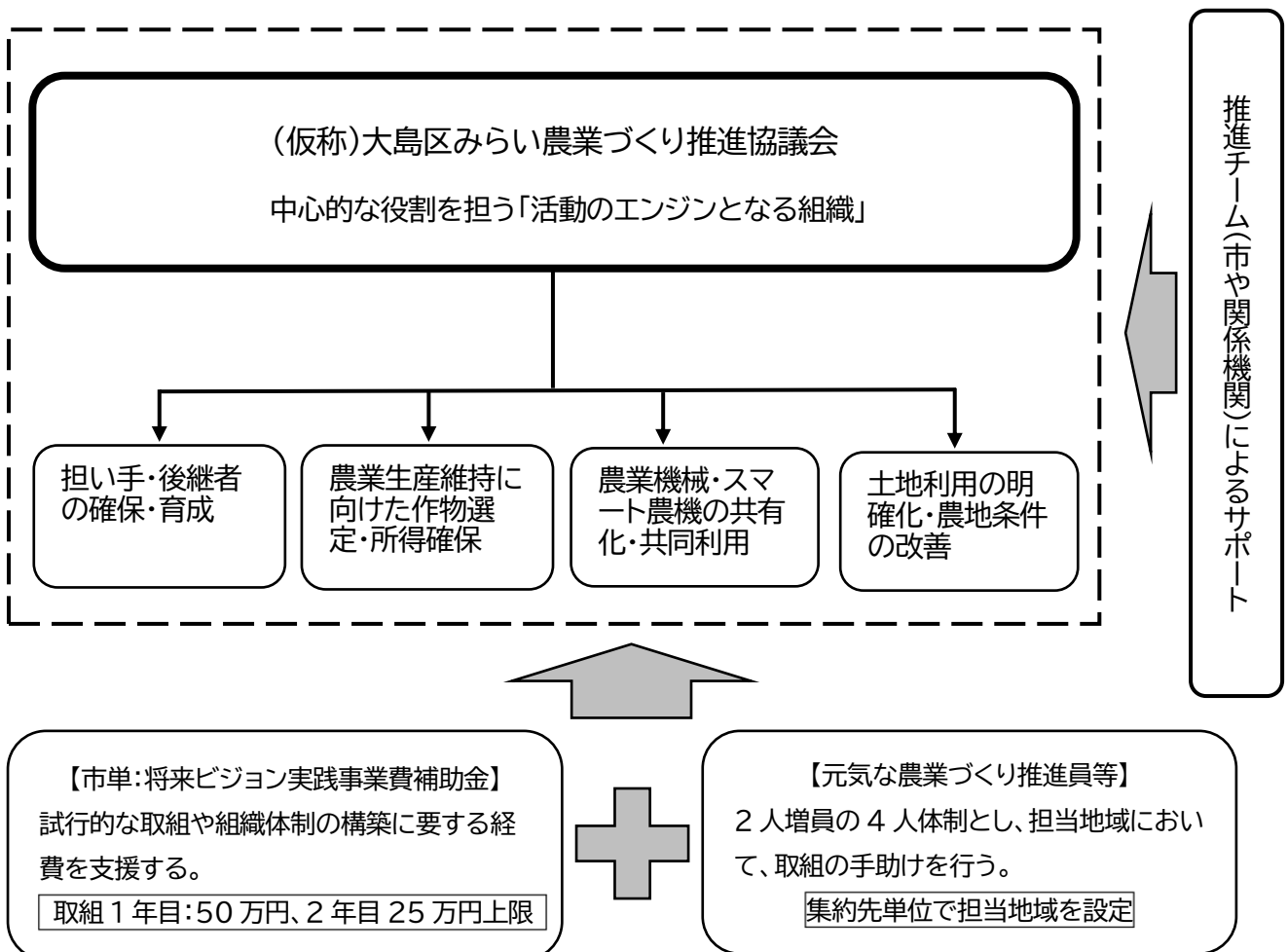
2 推進体制

(1) これまでどおり、市や関係機関で構成する推進チームの枠組みで地域の取組をサポート。

(2) 新たに「(仮称) 大島区みらい農業づくり推進協議会」を立ち上げ、同協議会が地域における中心的な役割を担う。

(3) 同協議会は「活動のエンジンとなる組織」として、今後想定される将来ビジョンの変更や各種支援事業の申請内容等の検討に迅速に対応するとともに、4つテーマの取組の進捗管理を行い、将来ビジョン補助金等の活用を検討する。

[参考] 推進体制イメージ



「みらい農業づくり会議」開催状況と「将来ビジョン」取組内容の一覧表

1. 開催状況（参加人数：延べ1,110人、うち女性123人）

地域自治区名	第1回 (農地と地域の強み・弱み等の整理)	参加人数		第2回 (今と将来の取組内容等を整理)	参加人数		第3回 (取組の優先順位付け等)	参加人数		グループワーク (テーマ別に具体策を検討)	参加人数		第4回 (将来ビジョンの検討と決定)	参加人数	
		うち女性			うち女性			うち女性			うち女性			うち女性	
谷浜・桑取区	令和3年12月14日	34	8	令和4年3月29日	26	8	令和4年6月28日	24	5	テーマ別に2回実施	56	13	令和5年3月29日	28	5
安塚区	令和3年11月25日	32	3	令和4年3月25日	33	3	令和4年7月7日	29	1	—			令和5年3月17日	25	1
浦川原区	令和4年3月14日	30	2	令和4年3月28日	29	1	令和4年7月12日	29	1	令和5年10月31日	23	1	令和5年2月21日	19	1
大島区	令和3年11月30日	37	3	令和4年3月24日	32	2	令和4年7月4日	31	3	—			令和5年3月22日	24	1
牧区	令和3年11月29日	37	7	令和4年3月23日	25	3	令和4年11月9日	24	3	—			令和5年3月27日	19	5
吉川区	令和3年11月19日	34	1	令和4年3月23日	29	1	令和4年7月12日	28	1	令和5年11月17日	37	2	令和5年2月22日	33	—
板倉区	令和3年11月26日	33	5	令和4年3月22日	23	4	令和4年10月26日	22	3	—			令和5年3月22日	17	3
名立区	令和3年8月20日	38	8	令和3年12月21日	31	2	令和4年6月22日	26	4	テーマ別に2回実施 (組織育成Gは4回)	85	7	令和5年4月12日	28	2
		275	37		228	24		213	21		201	23		193	18

2. 「将来ビジョン」取組内容

地域自治区名	【キャッチフレーズ】 ありたい姿	担い手・後継者の確保	農業生産維持に向けた作物選定 ・所得確保	農業機械・スマート農機の共有化 ・共同利用	土地利用の明確化・農地条件の改善	事務局的作用を担う 「活動のエンジンとなる組織」
谷浜・桑取区	谷浜・桑取区らしさである海から山までの地域資源を活かし、地域内外との交流により、桑谷ファンを増やします！！	<ul style="list-style-type: none"> 農業体験の受入に向けた体制整備 農業体験希望者の受入 担い手の募集 マニュアル(就農)の作成 半農半「X」の推進 地域おこし協力隊の導入(検討) 	<ul style="list-style-type: none"> 山菜の収穫作業体験を促進する 山菜を活用した所得補償 振興作物(ブルーベリー等)を栽培する 情報を発信する(特産品の販売等) 	<ul style="list-style-type: none"> 農作業の共同化を進める ドローンによるカメムシ防除を共同で実施する ラジコン草刈り機による法面除草の共同作業 	<ul style="list-style-type: none"> 鳥獣被害対策の実施(地区全体を広く網羅する電気柵等の設置) 農道、水路等のインフラ管理体制の構築(管理の省力化に向けた整備を含む) 基盤整備の実施 農地貸出 	「NPO かみえちご山里ファン倶楽部」と「桑谷農業振興会」との共同体
安塚区	安塚区らしさである豊かな自然と雪を活かし、ひと手間とブランド化により、持続可能な農業をめざします！！	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信体制を検討し、新規就農希望者を募集 法人設立の検討 移住者、定年帰農者の受入れ 	<ul style="list-style-type: none"> 米の安塚区ブランドの検討 自然薯オーナー制度の検討 イチジクとクルミシロップの試験的な取組 	<ul style="list-style-type: none"> ドローンの活用を推進する 関係機関に対して、農業機械のリース制度の充実や農業機械導入の補助率アップを要望する 	<ul style="list-style-type: none"> 基盤整備の検討(用水路、暗きょ排水を含む) 農地の集約、集積の実施 	安塚区みらい農業づくり会議に参画した団体を中心に、新たに「(仮称)安塚区みらい農業づくり推進協議会」を組織する予定。
浦川原区	浦川原区らしさである伝承技術と農村文化を活かし、豊かな地域資源の活用と異業種間の連携により、将来世代につながる持続可能な農業をめざします！！	<ul style="list-style-type: none"> U・Iターン希望者等の半農半Xの生活環境づくり 農作業コンテストを通じた区の魅力発信及び農家同士のコミュニティづくり 水路・農道等の新たな管理体制の仕組みづくり 	<ul style="list-style-type: none"> 竹の有効利用 朴葉飯の商品化 米粉を活用した商品化 	<ul style="list-style-type: none"> スマート農業で若者への魅力発信と生活環境の整備を促進 農業機械の共同利用の推進 異業種間連携による農業受託事業の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 主食用米以外の作物栽培の促進 蜂蜜の製造・販売の促進 	浦川原区フューチャーデザインワークショップに参画した団体を中心に、新たに「(仮称)浦川原区みらい農業づくり推進協議会」を組織する予定。
大島区	大島区らしさである人や物・自然の豊かさを活かし、楽しい農業や地域のつながりにより、人生の楽園をめざします！！	<ul style="list-style-type: none"> 地域の受入体制の構築と地域おこし協力隊の導入を検討 農業参入する会社を募集する 残す農地、貸し付ける農地、やめる農地の線引きを行う 	<ul style="list-style-type: none"> 農産物と地域の魅力の情報発信 農産物を加工し、高付加価値化による所得の増収を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> 農業機械の共同利用の促進と農作業の共同化に取り組む 市を通じて、NOSA Iによる防除の継続を希望する ドローンの活用を推進する 	<ul style="list-style-type: none"> 残す農地を明確にする 農道、水路、ため池の整備を行う 人・農地プランの理解の浸透を図る 	大島区みらい農業づくり会議に参画した団体を中心に、新たに「(仮称)大島区みらい農業づくり推進協議会」を組織する予定。
牧区	牧区らしさである・自然・棚田・人情を活かし、SNSでのPRにより、美味しさを世界へお届けします！！	<ul style="list-style-type: none"> 女性が参入しやすい環境づくり 女性・若者農業イベントに対する農業体験の開催と交流人口の拡大 空き家・空き地・農地付き空き家の利用促進 	<ul style="list-style-type: none"> こだわり米の生産推進 女性が参加しやすい農業イベントの開催 SNS等を活用した情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 農業3Kのイメージ払拭 ドローンの導入促進 	<ul style="list-style-type: none"> 圃場整備、暗渠配水の促進 農業用排水、ため池の整備促進 	「地域運営協同組合(農業+商工観光)の(新組織設立)」ほか
吉川区	吉川区らしさである人のあたたかさや自然の多様性を活かし、移住の促進と交流人口の拡大により、担い手農家の確保・育成を図ります！！	<ul style="list-style-type: none"> 移住者(地域おこし協力隊等)の受け入れ 地域の魅力発信 非農家や企業との協力体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 「吉川ブランド」の確立 山菜の栽培 	<ul style="list-style-type: none"> 地域に合ったスマート農業 農業機械の共同利用 	<ul style="list-style-type: none"> 守るべき農地の明確化(集落戦略の見直し) 条件の悪い農用地の活用 農業用施設の整備 山林の整備 	「みらい農業づくり会議」を発展させた「農業者と関係機関が連携した新たな組織」
板倉区	板倉区らしさである米とソバの美味しさを活かし、インターネットにより、板倉の農業を世界に広げます！！	<ul style="list-style-type: none"> 平場から山間地へ担い手の協力(支援)体制づくり 既存人材育成機会の利用促進 移住者受入のPR強化 	<ul style="list-style-type: none"> 棚田米の付加価値PR そばの生産・加工・販売の強化 インターネット等を活用した米・そばのPR 	<ul style="list-style-type: none"> 板倉区全体で共同利用できる農業機械の導入 平場の農業法人への作業委託 	<ul style="list-style-type: none"> 農道・用排水路及び用水乗入道路の整備 耕作者のいない農地の共同作業 	「板倉区中山間地域農業振興会」、「生産組合の連合体(新組織立上げ)」ほか
名立区	名立区らしさである豊富な資源を活かし、地域の連携や発信により、名立を日本中に売り込みます！！	<ul style="list-style-type: none"> 農業体験の受入に向けた体制整備 農業体験希望者の受入 担い手の募集 農業体験の実施 空き家情報の発信 農作業の協同化 	<ul style="list-style-type: none"> 梅を新植する ソバを生産、拡大する(イベントや特産品の開発含む) 情報を発信する 	<ul style="list-style-type: none"> 農作業の協同化を進める ドローンによるカメムシ防除を共同で実施 ラジコン草刈り機による法面除草の共同作業 	<ul style="list-style-type: none"> 農地の有効利用促進(農地集積、遊休農地の活用、多面的な利用)及び基盤整備事業の実施 農業インフラを整備(農道・水路の整備) 	「名立区農業振興協議会」を中心とする区内農業団体(集落協定・多面組織等)の協議体